

# 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

## ■調査概要

### ●利用者アンケート実施方法

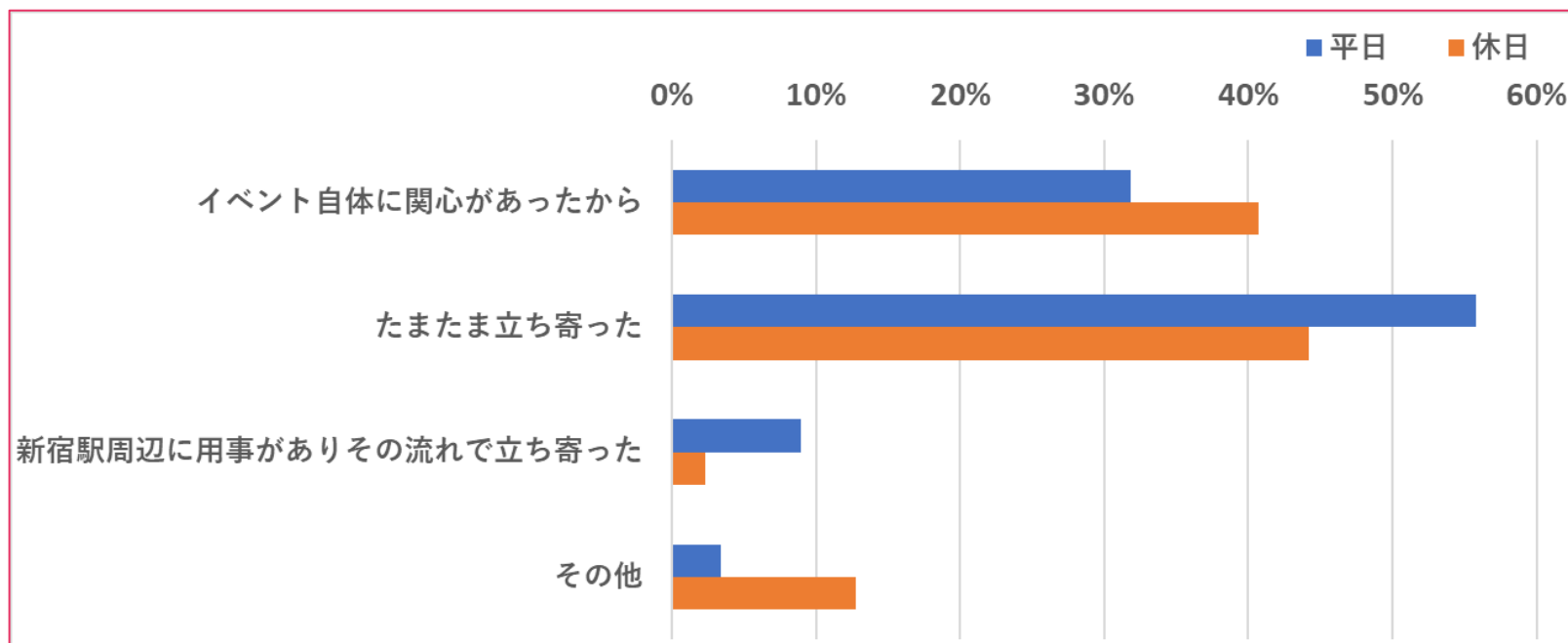
国交省「まちなかの居心地の良さを測る指標」による居心地の良さ4要素（『寛容性』『期待感』『安らぎ感』『安心感』）の評価項目に基づいて実施。

●回答総数 合計 439件（10/13(金) 267件、10/15(日) 172件）

●属性 男性 241人、女性 198人

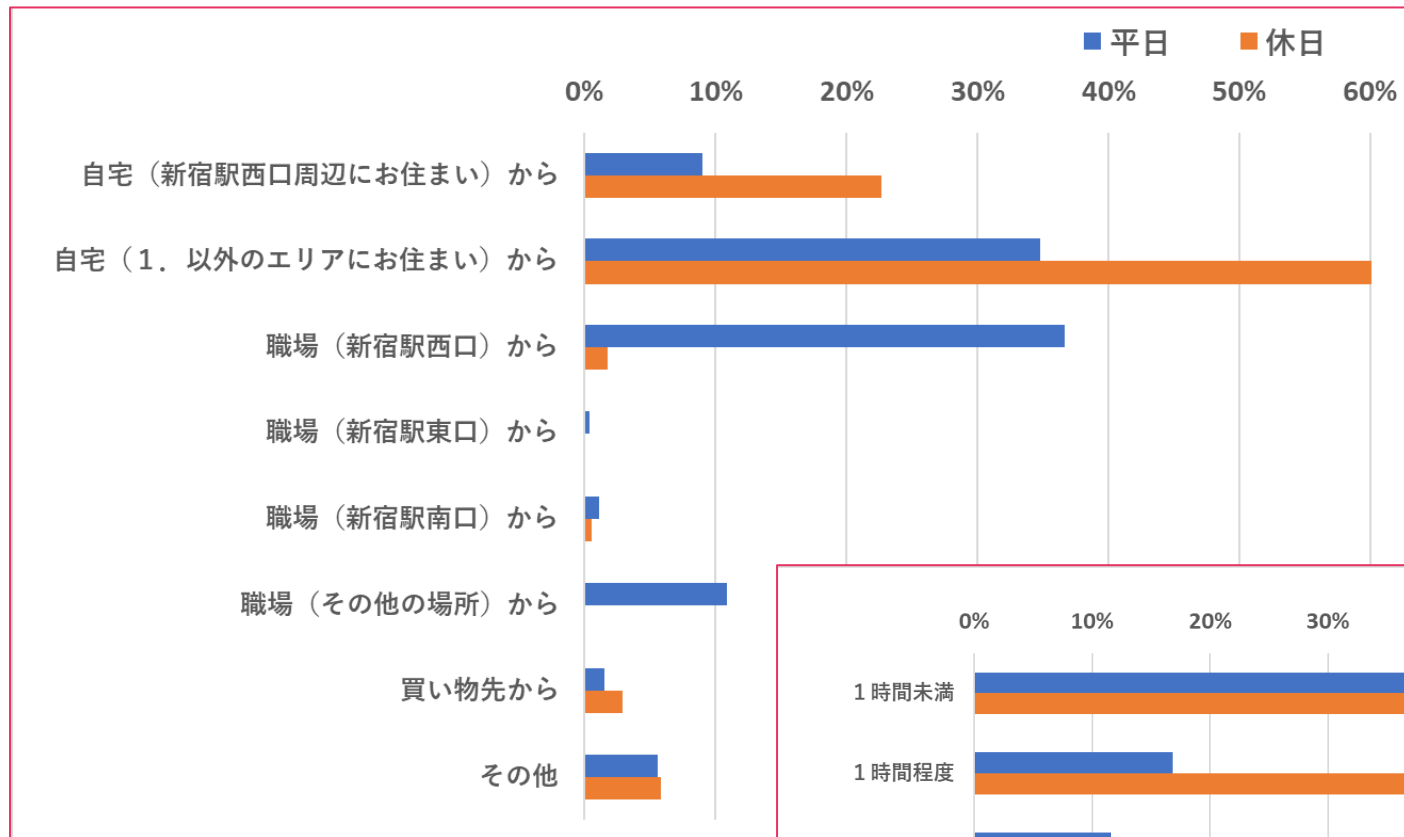
●来場目的 平日：たまたま立ち寄った（56%）

休日：イベントへの興味・その他※口コミ等（54%）

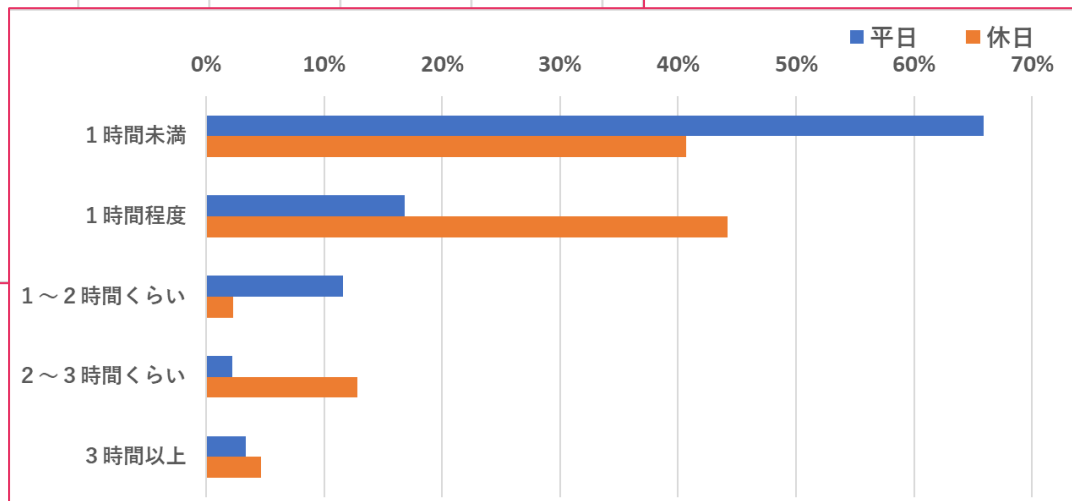


# 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

- 来訪元 平日：西新宿の勤務者（37%）・来街者（35%）  
休日：来街者（66%）・西新宿周辺居住者（23%）



- 滞在時間 平日：1 時間未満（66%）  
休日：1 時間程度（44%）



# 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

## ● イベント周知

平日：通りがかりが過半（56%）

告知効果も一定割合である

（チラシ, HP, 勤務先 等）

休日：口コミの割合が平日より多い

友人（13%）

SNS（8%）

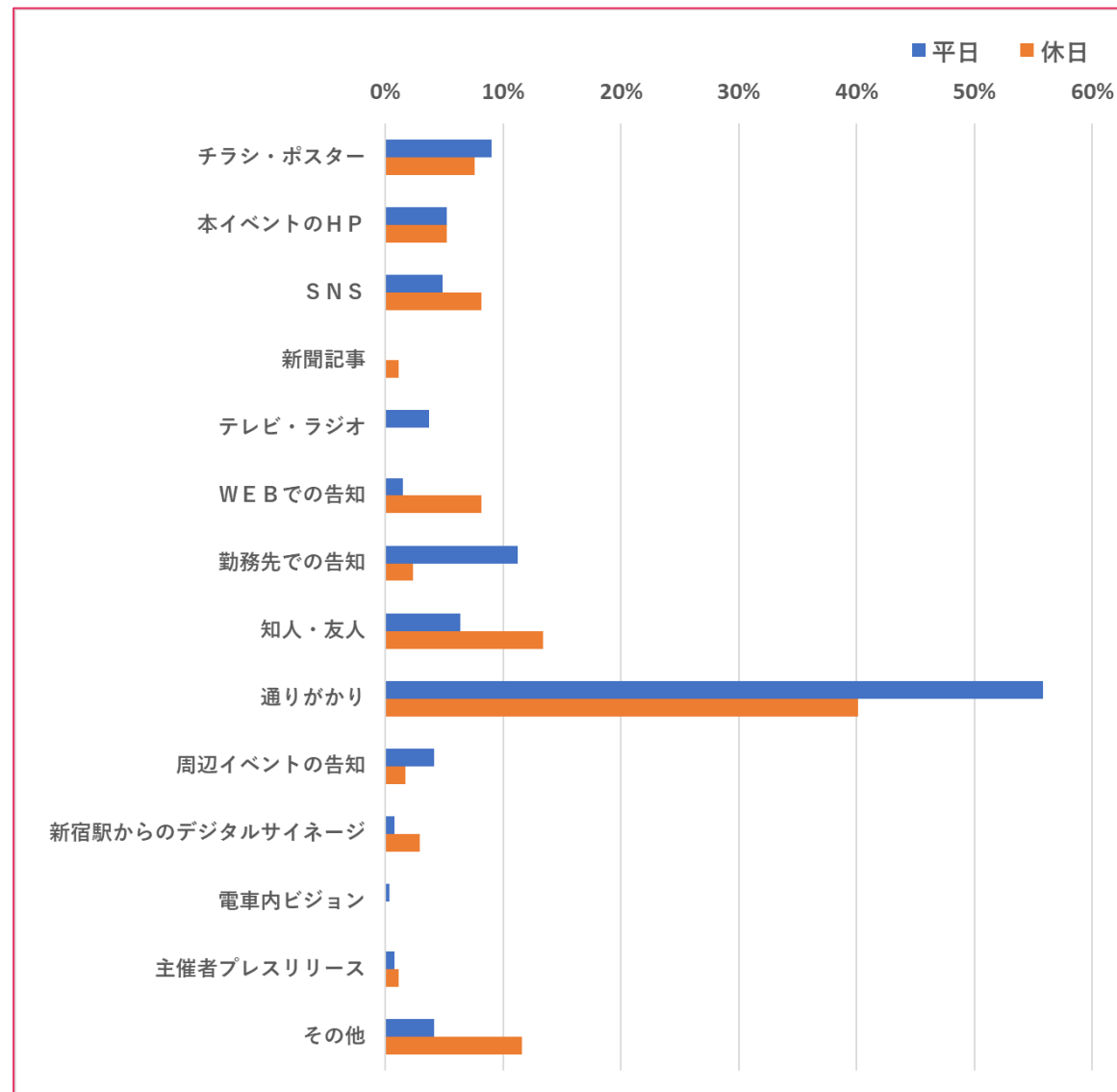
その他（12%）

### 【基礎情報からの考察】

○平日・休日で来街者層が大きく変わる

○オフィスワーカーや来街者へのイベント告知が重要

○魅力的なイベント開催があれば休日の集客が期待できるエリア

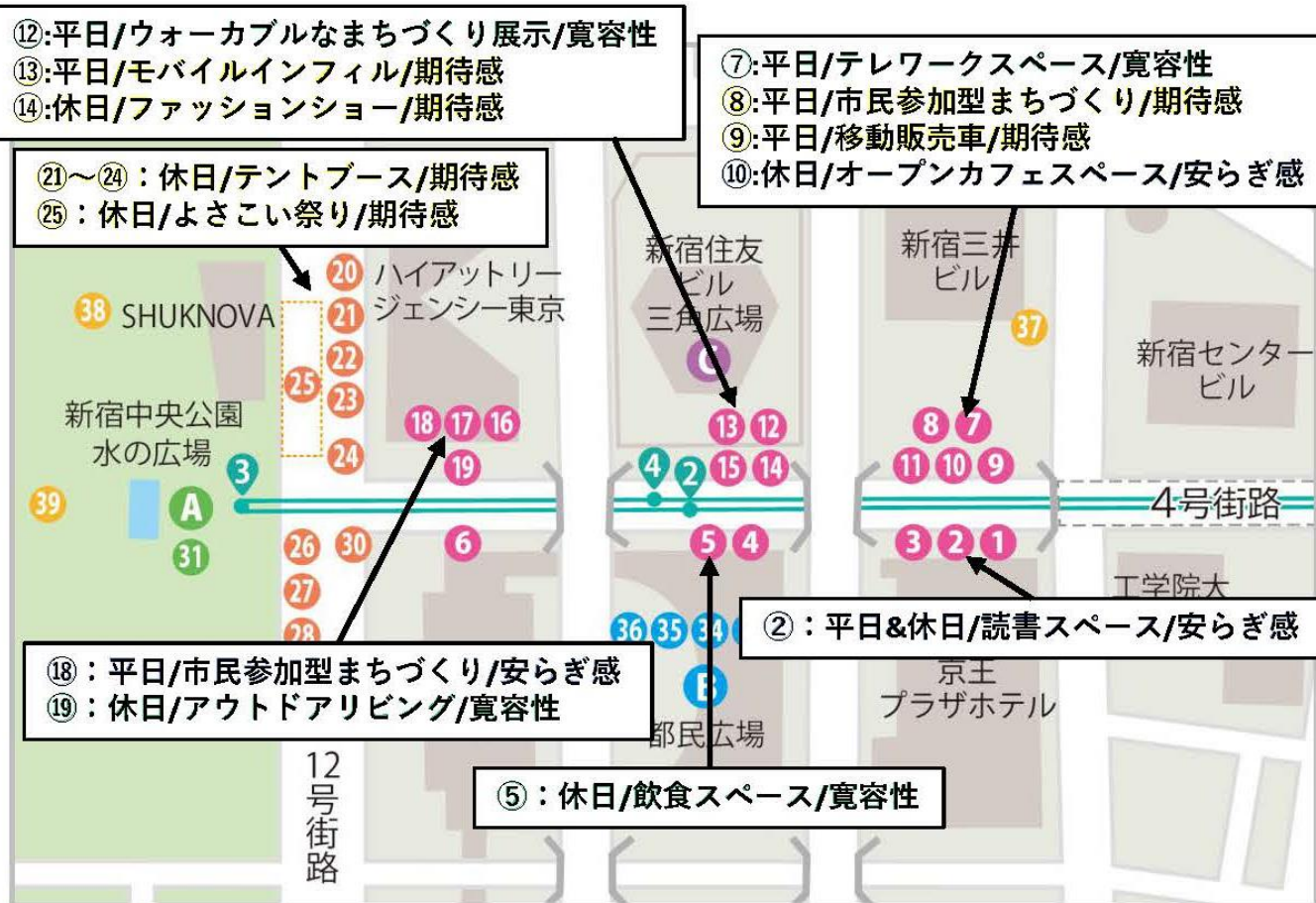


# 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

## ●居心地の良さの要素に対応した調査場所



※安心感は全コンテンツに共通して必要な要素であるため、全箇所で調査



# 「まちなかの居心地の良さを測る指標」によるアンケート調査

## ● 評価

	平日	休日
寛容性	<p>・気軽に利用できる場所だと感じるとの回答が多いため、将来歩道上に机椅子等の配置を行い、<u>オフィスワーカーの滞在を促進する仕掛けづくりへの需要は高い</u>と考える。</p> <p>ウォークアブルなまちづくり展示・ワークスペース (住友ビル前、三井ビル前)</p>	<p>・アウトドア系や飲食系については、周辺の居住者の来訪が多く見込まれるため、<u>休日に限り、物販飲食系を設けても、ある程度の需要が見込まれるもの</u>と考える。</p> <p>アウトドアリビング・飲食スペース (ハイアット前、議会棟前)</p>
期待感	<p>・<u>体験型や販売型のイベント</u>については期待感が高く、<u>オフィスワーカー向け</u>の新しい需要が想定される。</p> <p>移動販売車・市民参加型まちづくり・モバイルインフィル (三井ビル前、住友ビル前)</p>	<p>・休日のイベントは、年齢性別に偏りなく来訪者総意として期待に関する評価が高い。そのため、<u>休日に公共空間を活用してのイベント</u>は需要が高い。</p> <p>テントブース・ファッションショー・よさこい祭り (12号街路、住友ビル前、都民広場)</p>
安らぎ感	<p>・座ってくつろぐ場所への期待値が高いため、将来的に空間整備をすることで、<u>街なかへ一定の賑わいを見込むことが期待できる</u>。</p> <p>市民参加型まちづくり・読書スペース (ハイアット前、京プラ前)</p>	<p>・自宅からの来訪、西口以外の来訪が多いため、<u>オープンカフェや読書空間</u>といった利用は、平日ほど見込まれては<u>いない</u>ことが考えられる。</p> <p>オープンカフェスペース・読書スペース (三井ビル前、京プラ前)</p>